

病害虫防除技術情報第4号

平成25年5月24日
三重県病害虫防除所

ネギのネギハモグリバエ、ネギアザミウマの発生が多くなっています

- 1 対象作物：ネギ
- 2 病害虫名：ネギハモグリバエ、ネギアザミウマ
- 3 発生状況：やや多い
 - 1) 巡回調査圃場では、4月に比べて5月の被害発生が増加しており、5月上旬におけるネギハモグリバエによる被害葉率7.2%、ネギアザミウマによる被害葉率45.8%と、いずれも平年に比べて多くなっています（表）。
 - 2) 一般圃場では、5月中旬の発生量は平年に比べてやや多い状況です。

表. 巡回調査圃場におけるネギハモグリバエ、ネギアザミウマによる被害葉率

	ネギハモグリバエ		ネギアザミウマ	
	4月上旬	5月上旬	4月上旬	5月上旬
本年	0.1%	7.2%	2.7%	45.8%
平年	0.1%	3.5%	6.3%	13.6%
平年比	平年並	多	やや少	多

- ・4月は5圃場（伊勢市4圃場、松阪市1圃場）、5月は4圃場（伊勢市4圃場）の平均値。
- ・各圃場150葉（50株×3葉）を調査。
- ・平年値は過去10年間（平成15～24年）の平均。

- 4 防除上の注意事項
 - 1) ネギハモグリバエによる被害は、成虫では一列に並んだ白い点（食害痕および産卵痕）となり、幼虫では葉の内部から食害するため白く細長い線状になります。
 - 2) ネギアザミウマによる被害は、成幼虫が葉の表面を食害するためカスリ状に白くなります。多発すると葉全体が白くなり、生育不良となることもあります。
 - 3) いずれの害虫も多発すると防除が困難になるので、早期防除に努めてください。
 - 4) 必要な場合は展着剤を加用し、薬液が葉面によくかかるように、ていねいに散布してください。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。